

不正・腐敗の一方で、市民に痛みを押しつける ゆがんだ市政ただします

日本共産党 日野市議会議員 **岡田じゅん子**



1973年杉並区生まれ。10代～20代に引きこもりを体験。派遣・契約社員として顧客相談コールセンターに働く。2018年より市議1期、民生文教委員などつとめる。ロックライブと映画鑑賞が趣味。

市民の暮らしを守ってきた制度はどんなにわずかな支出でもきびしくコストカット。その一方、何億円もの不正・違法な支出が見逃されている。こんなゆがんだ市政をただすため、日本共産党はみなさんと力を合わせてがんばります。

教育・介護ではバッサリ削減

学校安全管理員 3440万円 **全廃**

大阪の池田小での悲惨な事件を機に、子どもの安全を守るために全校に配置されていた学校安全管理員を、日野市は昨年 4 月に全廃。自民、公明等が賛成しました。

元学校安全管理員の声
学校には子どもの安全を見守る大人の目が必要です。「防犯カメラがあるから」と言っても、そのカメラをだれが見るのでしょうか。

寝たきり高齢者看護手当 1129万円 **全廃**

介護保険に入っている施設に入れないお年寄りを自宅で看護する場合に月5000円を支給する制度。かつては公明党議員も「高く評価いたします」と言っていたのに、あっさり廃止してしまいました。

利用者の声
紙おむつの支給に所得制限がつけられ届けてもらえなくなった。大きく重い紙おむつを持って坂を登るのがいかに大変か。決めた人たちはわかっているのかと言いたい。

不正・違法な支出は見逃し

区画整理詐欺事件・違法報酬 **4億円余**

保育園民営化違法補助金疑惑 **4億円余**

公園に違法なごみ搬入路建設 **2.5億円**

「広報ひの」の1月号に、旧たかはた保育園民営化事業で「権限のない元副市長が事業を主導して進めていたことを、結果的に放置した」「多額の補助金支出について、その妥当性を十分確認せずに決裁した」と大坪市長の責任を認める記事が掲載されました。

「維新の会」も市民の暮らし切り捨てに賛成

維新の会は、「身を切る改革」と言いますが、切ってきたのは市民の暮らし。市長の提案になんでも賛成し、その一方で、疑惑解明のための調査特別委員会の設置に反対してきました。

違法・不正も「問題ない」と賛成してきた 自民・公明など与党にただせるでしょうか？

自民党、公明党などは、共産党などが提案した全容解明のための百条委員会の設置にも反対。疑惑解明を求める請願も廃案にしてみました。幕引きをはかろうとしていることはあきらかです。

「違法なごみ搬入路」や「補助金疑惑」の指摘にたいし、大坪市長や自民、公明などは「共産党丸抱え!?グループに騙されるな」とビラで宣伝しました。しかし、市民をだましていたのは誰なのか、いまではハッキリしました。

(2017年市長選)

旧たかはた保育園民営化に伴う疑惑に関する議案への各会派の態度 (2021年12月議会)

議案	日本共産党 市議団	自由民主党 市議団	公明党	チーム ひの	結果
調査特別委員会の設置を求める動議	賛成	反対	反対	賛成 1 名 反対 4 名	否決
疑惑解明を市議会に求める請願	採択	継続	継続	継続	継続 (廃案に)

疑惑の解明はクリーンで清潔な 日本共産党でこそ

企業・団体献金を受け取らず、特定の会社や団体との腐れ縁を持たない日本共産党の清潔さは日野でも同じです。徹底した調査に基づき不正・腐敗を厳しく追及する日本共産党にご期待ください。

(左から) 大高哲志、ちかざわ美樹、わたなべ三枝、岡田じゅん子、中野あきとの各議員

日野市議団のホームページ
こちらから→

市政のゆがみただし暮らしをまもる 最も頼りになるチカラ

日本共産党の5人がひきつづき必要です

9条改憲 NO！ 自民、公明、維新らがねらう改憲ゆるさず、憲法を生かす政治へ

市民のねがいをかならず実現します

日本共産党は市民のみなさんと力をあわせ、市政の不正や腐敗をただすとともに、みなさんから寄せられる切実なねがいを実現するために全力をつくします。

日本共産党

小学校体育館のエアコン設置ただちに

子どもたちの授業や学校行事にとっても、災害の際の避難所となることを考えても必要です。国と都の補助金を活用すれば、1校あたり600万円程度で設置できます。稲城市では1年で完了させました。日野市でも1年で完了できます。

トイレの改修もスピードアップ



学校トイレの洋式化も、1年で2校ずつしかやらない現在の計画では何年たっても終わりません。一気に改修をすすめ、快適に学べる環境を実現します。

ボロボロの道路を改修

日野市の市道（全長456 km）のうち10年間で改修する計画があるのはわずか13.2km だけ。しかも改修予算は年々削減されてきました。そのうえ全体の7割をしめる生活道路は補修計画の対象にすらなっていないことが共産党市議団の質問でわかりました。すべての生活道路の補修計画をつくらせ、高齢者や障がい者にやさしいまちをつくりま



ようやく改修された三中・夢が丘小学校周辺の歩道。ウォーキングの高齢者からも要望が寄せられていました。

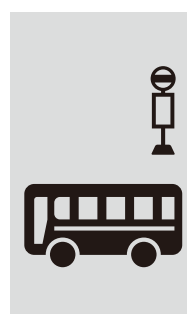
補聴器の購入に助成を

多くの人にとって避けられない加齢性の難聴。認知症との関連も指摘されています。党市議団はいち早くこの問題を取り上げ、「購入費の補助を求める請願」は全会一致で採択されました。多摩26市で初となる補助制度実現に全力をあげます。

国保値上げストップ

昨年末、大坪市長は本年4月からの値上げを国保運営協議会に諮問。課税基礎額125万円の単身者で2年後の負担増は2万2千円にもなる連続値上げです。立川市では「コロナ禍で値上げは適切でない」と中止を決めています。日野市でもストップさせましょう。

ミニバスの拡充



免許を返納した高齢者を含め、市民の足の確保は重要な課題です。ミニバスの路線、運行本数の拡充とともに、ワゴンタクシーなど公共交通を抜本的に充実させます。

共産党に期待

徹底した調査に裏付けられた論戦力は、不正・腐敗の追及に不可欠です。



弁護士
窪田之喜

力をあわせて

5人の市議団と連携して、市民のねがい実現へ、私も一緒にがんばります。



都議会議員
清水とし子

公共工事の「談合」なくせば 6億円の財源が確保できます

日野市では、公共事業の工事契約（2000万円以上）で半分以上が1者入札。競争が働かないので予定価格に対する契約金額の割合はなんと平均99%で高止まりしています。普通に競争入札がおこなわれ、他の市並みに落札率が90%くらいになれば約6億円の経費が節約でき、あらたな財源が生まれます。

オミクロン株感染拡大 新型コロナ対策で市に緊急の申し入れ 日本共産党日野市議団

新型コロナウイルスのオミクロン株による感染が急速に広がるなか、日本共産党日野市議団は大坪冬彦市長宛に対策の強化を求める緊急の申し入れを行いました。

<おもな申し入れ事項>

- ・3回目のワクチン接種を最大限迅速に
- ・移動困難な高齢者には送迎支援を
- ・無料で受けられるPCR検査の拡大
- ・医師会などと連携し往診や電話相談を
- ・生活困窮者や逼迫した事業者へ支援を



申し入れを行う党市議団（1月17日・日野市役所）

市政への要望、お困りのこと、いつでもご相談ください 042-582-0505（日本共産党日野市委員会）